

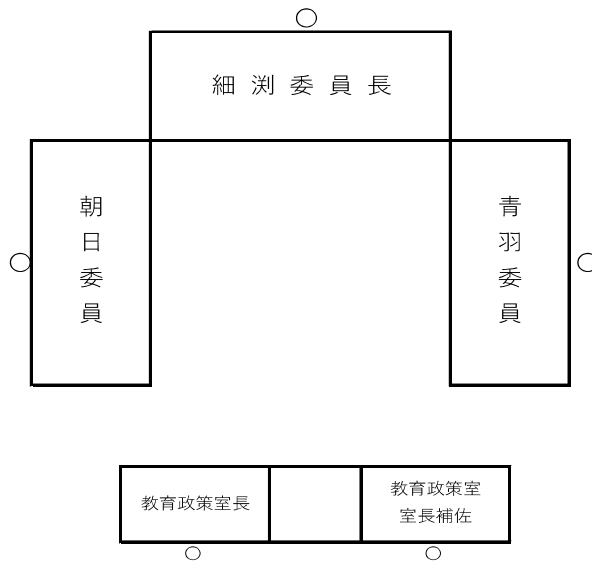
第4回 さいたま市教育行政点検評価委員会

日 時 平成30年9月19日(水)
午前10時00分～
場 所 市役所3階 教育委員会室

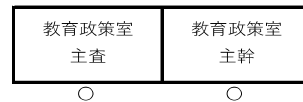
－ 次 第 －

- 1 開 会
- 2 議 題 (1) 第3回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について
(2) 各施策についての点検・評価
- 3 閉 会

第4回教育行政点検評価委員会 座席表



傍聴席 (3席)



— 出入口 —

第4回さいたま市教育行政点検評価委員会 出席者名簿

1 さいたま市教育行政点検評価委員 (敬称略)

職	氏 名	役 職 等
委員長	(ほそぶち とみお) 細渕 富夫	埼玉大学教授
委 員	(あさひ ようこ) 朝日 洋子	さいたまチャレンジスクール運営会議副会長
委 員	(あおば あきひと) 青羽 章仁	さいたま市PTA協議会会長

2 事務局

	氏 名	役 職
1	野津 吉宏	管理部 教育政策室長
2	竹内 孝央	〃 教育政策室長補佐
3	瀧山 聡美	〃 教育政策室 主幹
4	西川 和利	〃 教育政策室 主査

(案)

平成30年9月19日

議題(1) 第3回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について

《生涯を通じた学びの充実とその成果の活用》

④ 人権教育・啓発事業の推進

- ・公民館等で行う人権教育の中で、学校で行う人権教育の内容についても紹介するなど、公民館と学校で連携を図り、学校における人権教育の内容を保護者や地域に広く周知したほうがよい。

《社会を生き抜く力はぐくみ、多様な個性が活かされる教育の推進》

2 未来へ飛躍する人材の育成

⑩ 「グローバル・スタディ」の充実

- ・小・中学校の9年間、小・中・高等学校の12年間、中・高等学校の6年間と、連続性のある学びについて、いろいろな学年の区切りがある中で、さいたま市の児童生徒、保護者は、多様な選択肢の中から学校を選び、いろいろな環境で学ぶことができるので、とても良い。今後も各学校で特色ある教育を推進して欲しい。

⑪ 理数教育の推進

- ・子どもたちは実験教室など理科の活動をととても楽しそうに取り組んでおり、例えば観察や実験を行うイベントなどは、子どもたちに大変好評である。引き続きCST事業をはじめ、理数教育の充実を期待している。
- ・観察実験アシスタントについて、例えば大学の授業の一環として、観察実験アシスタントに取り組めるシステムを構築することなどを検討し、理科教育の充実を図る必要がある。

⑫ 市立高等学校「特色ある学校づくり」計画の推進

- ・高等学校における「特色ある学校づくり」が保護者にも浸透してきているように感じられ、とても良い。4校の市立高等学校が、それぞれ特色ある教育を推進することは大変素晴らしいことなので、引き続き推進して欲しい。

⑬ 主権者教育の推進

- ・小・中学校においては、児童生徒の保護者が投票に行かないといった話を聞くこともあるので、保護者への啓発のためにも、主権者教育について、学校とPTAとの連携を図っていく必要がある。

(案)

3 学校・家庭・地域の連携による教育の推進

㉑ 子どもの生活習慣向上のためのキャンペーンの推進

- ・テレビゲームやスマートフォンの使用時間や朝食の習慣など、保護者にも生活習慣向上の取組が浸透してきていると感じる。タブレットやスマートフォンについては、保護者の意識も変化してきており、児童生徒に使わせないということではなく、適切に使えるようになることを期待している。使用方法についてもアプリ等で遊ぶだけでなく、勉強などで活用する場面も増えてきていることから、今後のさいたま市学習状況調査の生活習慣等における質問などでは、表現方法を検討していく必要がある。

㉒ スクールサポートネットワーク（SSN）の推進

- ・学校と地域の関係を築く上で、働き方改革を担当する所管との連携が必要だと思われる。働き方改革とのバランスを大切にして、この取組を推進して欲しい。また、学校地域連携コーディネーターの役割も非常に重要である。学校と地域が良好な関係を築いていくために、この事業の趣旨や内容をよく理解して、推進する必要がある。

㉓ さいたまチャレンジスクールの推進

- ・チャレンジスクールの活動を支えるボランティアの不足が継続した課題となっている。またボランティアの高齢化も進んでいるので、これらの点について、引き続き検討が必要である。

㉔ 夢工房 未来（みら）くる先生 ふれ愛推進事業の充実

- ・小学校などは地域で働く人々も講師に招くことで、中学校での職場体験やキャリア教育の一助となるのではないかと。児童生徒の実態を踏まえて、中学生職場体験事業等とも連携し、各学校が事業を推進していくことが大切である。

㉕ 「心を潤す4つの言葉」の推進

- ・「心を潤す4つの言葉」のポスターについて、浸透してきている一方で、慣れてきてしまっていて、書かれている内容を読むことが少なくなっているように感じる。例えば配色を変えるなど、見る人の目に留まり、読みたくなるような工夫をしてはどうか。

㉖ 学校相談支援チームの活用

- ・最近、自殺を促すようなネガティブな音楽をインターネットで聞くことができるといったニュースを目にした。このような現状も踏まえて、調査を行ったり、指導や支援の内容を検討したりする必要がある。

※ 以上の意見を点検・評価報告書の（3）「教育行政点検評価委員会委員の意見」欄に記載する予定です。

平成 30 年度

さいたま市教育行政点検評価委員会
意見のまとめ

さいたま市教育行政点検評価委員会

さいたま市教育行政点検評価委員会 意見のまとめ

《社会を生き抜く力はぐくみ、多様な個性が生かされる教育の推進》

1 生きる力の確実な育成

① 全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査の活用

- ・「全国学力・学習状況調査」及び「さいたま市学習状況」の調査結果について、今後も様々な角度で分析を行い、各学校の実態に即した学力向上策を進めてほしい。

③ スクールアシスタント配置事業の充実

- ・スクールアシスタント配置事業は、学習等で非常に助かっているという声を多く聞くなど、成果が上がっているように思われる。更なる学習等支援の重要性を感じるので、本事業の充実を期待している。
- ・スクールアシスタントと、担任・教科担任との更なる連携を図ってほしい。
- ・各学校におけるスクールアシスタントの活用状況について、学校やスクールアシスタント本人にアンケート調査を行い、より有効的な事業になるように努めてほしい。

⑦ いじめ防止対策の推進

- ・いじめ防止対策について、子どもたちの意識が高まってきていて、とても良い。
- ・「さいたま市子ども会議」も回を重ねてくることで、特に保護者は会議を開催していることは認識しても、会議の受け止め方に変化が生じているのではないか。各学校で、保護者への周知方法などに差があるように思われるので、工夫が必要。
- ・先生方にも、「さいたま市子ども会議」等の取組から得られた成果を、日頃の指導で活用してほしい。特に、一見いじめと分かりにくいケースもあると思うので、そのようなケースについても、しっかりと見極め、きめ細かな対応をしてほしい。

⑧ 心のサポート体制の充実

- ・人事異動に伴って指導の方向性が変わらないように、さわやか相談員と保護者、学校が指導の方向性を確認しながら、児童生徒の支援に携わってほしい。
- ・自分から相談できない子どもに対して、「どのように相談したらよいか」「どこに相談したらよいか」などを分かりやすく伝えてほしい。
- ・これまでは、家庭内での悩みなど、学校だけではなかなか支援できない部分もあったと思うので、スクールソーシャルワーカーは、とても良い取組だと思う。

⑩ 教員の資質能力の向上

- ・研修への取組状況をみると、熱心に参加される先生が多く、安心できる場所である。今後も、子どもたちが「先生になりたい」と思えるように、資質能力の向上に努めてほしい。

⑫ さいたま教育コラボレーション構想の推進

- ・アシスタントティーチャーについては、将来的に教員になったときの指導力向上や資質向上につながる取組だと思われるので、引き続き充実させてほしい。

⑬ 自然体験活動の充実

- ・館岩少年自然の家は、新館もオープンしたので、ますます自然体験活動の充実が図られるよう運営して行ってほしい。

⑭ 学校図書館の充実

- ・子どもたちの不読率が0%にならないことが、大変残念である。夏休み前などにある、読書や本に関するチラシなどの配布は、家庭で子どもたちに働きかけるのに、有効だと感じる。
- ・読む力を身に付けていくことは、とても重要である。また、「読む・考える・議論する」という機会を増やしていく必要がある。読書のように読む活動によって身に付く力がある一方で、議論を通して、自分の考えをより確かなものにしたり、深めたりすることによって身に付く力も大切なので、ただ読むのではなく、他者の思いや気持ちを理解しながら、自分の考えを構築していく活動を充実させてほしい。

2 未来へ飛躍する人材の育成

⑩ 「グローバル・スタディ」の充実

- ・小・中学校の9年間、小・中・高等学校の12年間、中・高等学校の6年間と、連続性のある学びについて、いろいろな学年の区切りがある中で、さいたま市の児童生徒、保護者は、多様な選択肢の中から学校を選び、いろいろな環境で学ぶことができるので、とても良い。今後も各学校で特色ある教育を推進して行ってほしい。

⑪ 理数教育の推進

- ・子どもたちは実験教室など理科の活動をととても楽しそうに取り組んでおり、例えば観察や実験を行うイベントなどは、子どもたちに大変好評である。引き続きCST事業をはじめ、理数教育の充実を期待している。
- ・観察実験アシスタントについて、例えば大学の授業の一環として、観察実験アシスタントに取り組めるシステムを構築することなどを検討し、理科教育の充実を図る必要がある。

⑫ 市立高等学校「特色ある学校づくり」計画の推進

- ・高等学校における「特色ある学校づくり」が保護者にも浸透してきているように感じられ、とても良い。4校の市立高等学校が、それぞれ特色ある教育を推進することは大変すばらしいことなので、引き続き推進して行ってほしい。

⑬ 主権者教育の推進

- ・小・中学校においては、児童生徒の保護者が投票に行かないといった話を聞くこともあるので、保護者への啓発のためにも、主権者教育について、学校とPTAとの連携を図っていく必要がある。

3 学校・家庭・地域の連携による教育の推進

㉑ 子どもの生活習慣向上のためのキャンペーンの推進

- ・テレビゲームやスマートフォンの使用時間や朝食の習慣など、保護者にも生活習慣向上の取組が浸透してきていると感じる。タブレットやスマートフォンについては、保護者の意識も変化してきており、児童生徒に使わせないということではなく、適切に使えるようになることを期待している。使用方法についてもアプリ等で遊ぶだけでなく、勉強などで活用する場面も増えてきていることから、今後のさいたま市学習状況調査の生活習慣等における質問などでは、表現方法を検討していく必要がある。

㉒ スクールサポートネットワーク（SSN）の推進

- ・学校と地域の関係を築く上で、働き方改革を担当する所管との連携が必要だと思われる。働き方改革とのバランスを大切に、スクールサポートネットワークの取組を推進して行ってほしい。また、学校地域連携コーディネーターの役割も非常に重要である。学校と地域が良好な関係を築いていくために、この事業の趣旨や内容をよく理解して、推進する必要がある。

㉓ さいたまチャレンジスクールの推進

- ・チャレンジスクールの活動を支えるボランティアの不足が継続した課題となっている。またボランティアの高齢化も進んでいるので、これらの点について、引き続き検討が必要である。

㉔ 夢工房 未来（みら）くる先生 ふれ愛推進事業の充実

- ・小学校などは地域で働く人々も夢工房 未来（みら）くる先生 ふれ愛推進事業の講師に招くことで、中学校での職場体験やキャリア教育の一助となるのではないかと。児童生徒の実態を踏まえて、中学生職場体験事業等とも連携し、各学校が事業を推進していくことが大切である。

㉕ 「心を潤す4つの言葉」の推進

- ・「心を潤す4つの言葉」のポスターについて、浸透してきている一方で、見慣れてきてしまって、書かれている内容を読むことが少なくなっているように感じる。例えば配色を変えるなど、見る人の目に留まり、読みたくなるような工夫をしてはどうか。

㉖ 学校相談支援チームの活用

- ・最近、自殺を促すようなネガティブな音楽をインターネットで聞くことができるといったニュースを目にした。このような現状も踏まえて、調査を行ったり、指導や支援の内容を検討したりする必要がある。

4 安全・安心で豊かな教育環境づくり

㊸ 学校における安全教育の推進

- ・インターナショナルセーフスクールの取組の周知は、安全教育の推進に非常に有効だと思われる。「けがマップ」について、けがの発生が、注意喚起で改善できるものはよいが、学校の構造的な問題であるならば、対処が必要である。加えて、当該校の保護者への周知が重要である。

㊹ 学校安全ネットワークの推進

- ・「学校安全ネットワーク」のボランティアについては、地域によって減っているところもあると聞いている。人員の確保が課題であり、学校と保護者が足並みをそろえて呼びかけることが大切である。

㊺ 通学路の安全対策の推進

- ・学校が自治会の防犯パトロールと協力して、通学路の安全確認を行うなど、今後も学校と自治会の安全・安心に係る連携強化が必要である。

㊻ 学校施設改修等事業の推進

- ・学校のトイレについて、洋式化のほかに、LGBT等の観点から個室化の傾向があるので、その点も踏まえた検討が必要である。

㊼ ネットトラブル等防止のためのメディアリテラシー教育の推進

- ・小学生の携帯電話所持率が高くなっているように感じる。メディアリテラシー教育の推進は、今後も特に重要であると感じる。

《生涯を通じた学びの充実とその成果の活用》

③⑦ 生涯学習人材バンク事業の推進

- ・将来的な話だが、生涯学習人材バンク事業のノウハウを、例えば部活動外部指導者など同じ教育委員会内の事業に、何かしら生かすことができればよいのではないか。

③⑨ 親の学習事業の充実

- ・本市 PTA 協議会の独自の調査では、「子育ての悩みを気軽に相談できる場所があるといい。」という声がある。今後、事業を推進していく上で、PTA との情報交換や連携ができるとよいのではないか。

④⑩ 人権教育・啓発事業の推進

- ・公民館等で行う人権教育の中で、学校で行う人権教育の内容についても紹介するなど、公民館と学校で連携を図り、学校における人権教育の内容を保護者や地域に広く周知したほうがよい。

④⑪ 「さいたま子ども短歌賞」の推進

- ・子どもたちが創作する短歌はとても素晴らしいので、今後も子どもたちが楽しく取り組めるように、「さいたま市子ども短歌賞」の積極的な PR が必要である。また、夏休みの宿題として創作させる場合には、子どもたちが家庭でも取り組みやすいように、教育委員会と学校が連携し、事前に丁寧な説明をすることが必要だと感じる。

④⑫ 子ども読書活動推進事業の充実

- ・夏休みなどに公共図書館で行っている中・高校生による読み聞かせなどのボランティア活動を、出前講座のような形で、学校で行ってみてはどうか。

④⑬ 博物館・美術館事業の充実

- ・博物館や美術館の工夫された事業は広く周知したほうがよい。地域に周知する方法の一つとして、見学・体験しようというきっかけとなるように、今後も出前講座のような取組を積極的に行うことが大切である。

点検評価委員会審査日程

開催日程	所管課	【目標】 社会を生き抜く力をはぐくみ、多様な個性が活かされる教育の推進 【施策】 4 安全・安心で豊かな教育環境づくり	
≪ 第1回 ≫ 8月3日(金) 午後2時～4時	健康教育課	㉙ 学校における安全教育の推進	
	健康教育課	㉚ 学校安全ネットワークの推進	
	学事課	㉛ 就学援助制度の充実	
	学事課	㉜ 通学路の安全対策の推進	
	学校施設課	㉝ 学校施設改修等事業の推進	
	学校施設課	㉞ 美園地区小・中学校の新設	
	教育研究所	㉟ ネットトラブル等防止のためのメディアリテラシー教育の推進	
			【目標・施策】生涯を通じた学びの充実とその成果の活用
	生涯学習総合センター・管理課	㉠ 生涯学習施設整備事業等の推進	
	生涯学習振興課	㉡ 生涯学習人材バンク事業の推進	
	生涯学習総合センター	㉢ さいたま市民大学事業の充実	
	生涯学習総合センター	㉣ 親の学習事業の充実	
	生涯学習振興課	㉤ 「さいたま子ども短歌賞」の推進	
	資料サービス課	㉥ 子ども読書活動推進事業の充実	
	資料サービス課	㉦ 図書館事業の充実	
博物館・うらわ美術館	㉧ 博物館・美術館事業の充実		
文化財保護課	㉨ 歴史文化資源の保存・継承・活用事業の推進		
青少年宇宙科学館・博物館・うらわ美術館 生涯学習総合センター・資料サービス課	㉩ 生涯学習施設と学校との連携事業の充実		
≪ 第2回 ≫ 8月9日(木) 午前10時～正午			
			【目標】 社会を生き抜く力をはぐくみ、多様な個性が活かされる教育の推進 【施策】 1 生きる力の確実な育成
	教育研究所	㉪ 全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査の活用	
	指導1課	㉫ 確かな学力の育成	
	教職員人事課	㉬ スクールアシスタント配置事業の充実	
	指導1課	㉭ 小・中一貫教育の推進	
	指導1課	㉮ 道徳教育の推進	
	指導1課	㉯ 子どもたちの体力向上に向けた施策の推進	
	指導2課	㉺ いじめ防止対策の推進	
	総合教育相談室	㉻ 心のサポート体制の充実	
	特別支援教育室	㉼ 特別支援教育の充実	
	教育研究所	㉽ 教員の資質能力の向上	
	指導1課	㉾ 学校への訪問指導の充実	
	指導1課	㉿ さいたま教育コラボレーション構想の推進	
	館岩少年自然の家	㊀ 自然体験活動の充実	
指導1課	㊁ 学校図書館の充実		
教育研究所	㊂ ICT教育の充実		
≪ 第3回 ≫ 8月27日(月) 午前10時～正午			
			【目標・施策】生涯を通じた学びの充実とその成果の活用
	人権教育推進室	㊃ 人権教育・啓発事業の推進	
			【施策】 2 未来へ飛躍する人材の育成
	指導1課	㊄ 「グローバル・スタディ」の充実	
	指導1課	㊅ 国際教育・交流事業の推進	
	指導1課	㊆ 理数教育の推進	
	高校教育課	㊇ 市立高等学校「特色ある学校づくり」計画の推進	
	高校教育課	㊈ 主権者教育の推進	
			【施策】 3 学校・家庭・地域の連携による教育の推進
	生涯学習振興課	㊉ 子どもの生活習慣向上のためのキャンペーンの推進	
	健康教育課	㊊ 各学校での特色を活かした給食や、きめ細かな食育の推進	
	生涯学習振興課	㊋ スクールサポートネットワーク(SSN)の推進	
	生涯学習振興課	㊌ さいたまチャレンジスクールの推進	
	指導1課	㊍ 夢工房 未来(みらくる)先生 ふれ愛推進事業の充実	
指導2課	㊎ 「心を潤す4つの言葉」の推進		
生涯学習振興課	㊏ 中学生職場体験事業「未来(みらくる)ワーク体験」の推進		
教職員人事課	㊐ 学校相談支援チームの活用		
≪ 第4回 ≫ 9月19日(水) 午前10時～11時	総 括	社会を生き抜く力をはぐくみ、多様な個性が活かされる教育の推進	
		1 生きる力の確実な育成	
		2 未来へ飛躍する人材の育成	
		3 学校・家庭・地域の連携による教育の推進	
		4 安全・安心で豊かな教育環境づくり	
		生涯を通じた学びの充実とその成果の活用	